

7A 病棟

看護師長 河本 敦子

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する。

脆弱性骨折と泌尿器科のカンファレンスをそれぞれ1週間に1回、他職種(医師・看護師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師・SMW・歯科衛生士など)を交えて行っている。また、腎移植前後の他職種カンファレンスも行っており、カンファレンス実施後の情報共有を行いながら今後も看護に繋げていく。退院前カンファレンスも1件実施でき、患者や家族の意向に沿った自宅退院へのサポートができた。

2) 病院経営に参画する

病床稼働率 87.2%、病床利用率 81.5%、平均在院日数 16.0 日であった。また、排尿ケア加算・認知症ケア加算・入退院支援加算等の加算漏れがないよう委員を中心に個別指導を行った。新電子カルテのパスにおいて、DPCⅡ期に適したパスは全体の36%であった。DPCⅡ期に適していないパスに対して、パス内容の変更やDPCⅡ期に合わせたパス設定を9件(32%)行った。また業務改善として早出看護業務、アシスタント・クラーク業務について業務の見直しを行った。時間がかかる業務内容についてテンプレート等を活用し時間短縮や処理の複雑化を改善した。タスクシフトも積極的にいき、前年度の同時期と比較し時間外勤務が20%削減できた。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

3b以上の転倒転落件数は0件であった。内服に関するインシデントは20件であり、患者誤認に関するものは0件であった。インシデントの内訳は薬剤が94件で一番多く、続いて療養上の世話(皮膚トラブル)35件、ドレーン・チューブ類29件となっている。3b以上の事例分析は2件(腓骨神経麻痺)を行った。感染予防対策として手指衛生実施回数は、目標10回/日以上に対し、1患者1日あたり7回/日であった。手指衛生実施回数が目標達成となるように、個別指導等を病棟全体で取り組んでいく必要がある。新規褥瘡発生件数は9件、MDRPU8件であった。褥瘡は踵部の除圧不足が多く、病棟ラウンド時に適切な除圧が行えているか確認し、スタッフへ直接指導を行った。

4) 専門職として能力開発に努める

年間の勉強会として整形グループ3回(外傷・耐圧分散・牽引について)、泌尿器グループ3回(ウロリフト・レジウムレーザー・ストーマ管理について)、腎内移植グループ3回(腎移植前後のドナー・腎移植前後のレシピエント・腹膜透析管理について)それぞれ実施することができた。各ラダー認定に必要な院内研修については全員参加できている。看護研究にも取り組んでおり、研修の学びや研究成果を臨床で活かしていく。

5) 看護の先輩として学生に関わる

朝のミーティングの際に学生挨拶の時間を設け、学生の受け持ち患者と実習担当者の動きも合わせて周知した。また、学生の実習目標が達成できるようスタッフに声掛けを行った。実習担当者不在時にも学生の学習状況や実践状況の共有を図るために学生指導シートを活用し継続した指導に繋がった。カンファレンス前には、担当教員と実習担当者で打ち合わせを行ったことで、目標達成に向けた指導を統一して行うことができた。

6) 活気ある職場、元気のある職場づくりを推進する

パートナーシップマインドに対するアンケートを自己評価3回/年、他者評価2回/年行った。7月

に院外研修に参加し、伝達講習を行ったことで他者評価は○の割合は92%であった。引き続きマイ
ンドの醸成を行いながら関わっていく。

2. 病床運営状況

表 1 令和 5 年度 病床運営状況

収容可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数(人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率(%)	病床 稼働率(%)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)				
48	腎臓内科 腎移植外科 泌尿器科 整形外科	88.9	91.0	39.1	16.0	81.5	87.2

重症加算病床		有料個室		死亡者数(人)
病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	
4	96.2	6	96.1	8

3. 看護体制

表 2 令和 5 年度 看護体制(令和 5 年 4 月 1 日現在)

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
31	PNS [®]	3:3

4. 看護統計

1) 重症度、医療・看護必要度

表 3 令和 5 年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ

基準を満たす 患者の割(%)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
	32.4	36.3	41.2	36.4	40.1	36.0	43.3	33.7	41.4	31.2	34.8	32.0	36.5

2) 部署データ

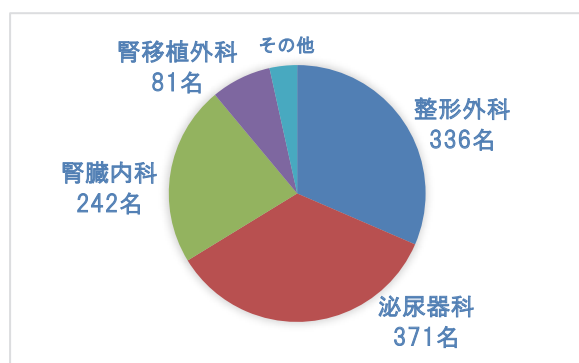


図1. 診療科別入院患者比較

表4 令和5年度科別手術件数

整形外科	324 件
泌尿器科	283 件
腎臓内科	55 件
腎移植外科	19 件